



水防団との意見交換会

7月4日(月)に「水防団幹部と整備局幹部との意見交換会」を実施しました。本意見交換会は、洪水高潮等における水防活動が円滑かつ迅速に実施されるため、水防活動に関する課題について、地域の実情に即した解決策の検討を行うことを目的に昨年度から開催しています。



水生生物調査



四万十川会場



後川会場



中筋川会場

7月は河川愛護月間です。その一環として、毎年、四万十川・後川・中筋川の3箇所、水生生物の分布状況を調べ、水質簡易調査を行っています。今年は7箇所の小学校の児童、約200人に協力してもらい河川の水生生物調査を行いました。子ども達には川の中にどのような生き物が生息しているのか、また川の水の状況はどうかを調べてもらいました。調査の結果は、四万十川「少し汚い水」、後川「きれいな水」、中筋川「少し汚い水」でした。今後も河川への関心を持ってもらい、きれいな川を保っていかけてもらうよう呼びかけをおこないました。

ツルの自然体験学習会



「四万十つるの里づくりの会」では、中山・江ノ村地区でツルが飛来・越冬しやすい環境づくりを行っており、毎年この時期に地域の子もたちを対象に「自然体験学習会」を開催しています。今年は7月11日(月)に、東中筋小学校、東中筋中学校、中筋小学校合わせて37人が参加し、東中筋中学校でツルの生態や種類について学習した後、中山地区でもミマキを行いました。参加した児童は「たくさんツルが来て欲しい」とインタビューに答えていました。

四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは
中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPIにも
掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>



台風6号情報

台風6号の概況

7月12日に南鳥島近海で発生した台風6号は19日に四国沖で東に向きを変え20日0時30分頃に徳島県南部へ上陸した後、10時頃潮岬付近を通過した。

台風6号は動きが遅く、台風から暖かく湿った空気が高知県へ流れ込む状況が続いた。

渡川水系では、18日未明より断続的に強い雨が降り続き、四万十川・中筋川・後川でははん濫注意水位を超過し、四万十川では、はん濫危険水位(無堤部)超過、中筋川では避難判断水位を超過する出水となりました。

四万十川橋(赤鉄橋)の状況

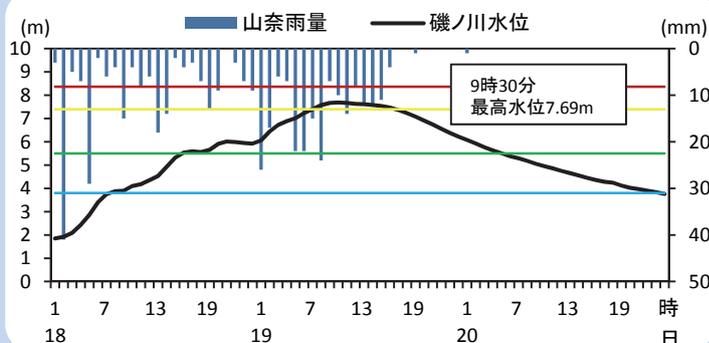
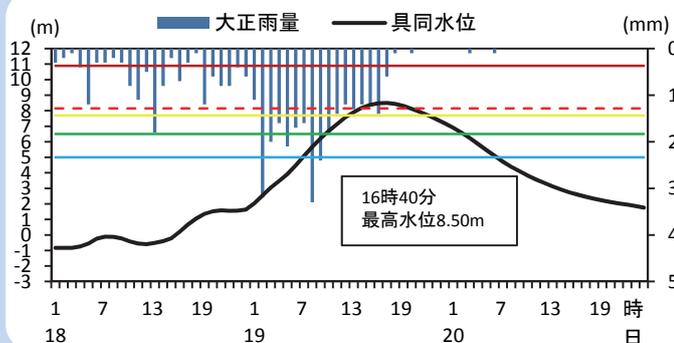


7月19日17時30分撮影

四万十川

水位・雨量データ

中筋川



台風6号による各河川の最高水位は四万十川(具同)8.50m、中筋川(磯ノ川)7.69m、後川(秋田)5.62mでした。四万十川では19日13時50分にはん濫危険水位(無堤部)8.15mを超過、また中筋川では19日避難判断水位7.40mを超過し、平成19年台風4号以来の高い水位を記録しました。

渡川水系の17日~20日の総雨量は船戸で802mm、大正436mm、山奈440mmを記録し、四万十川上流域と中筋川上流域で非常に強い降雨となりました。

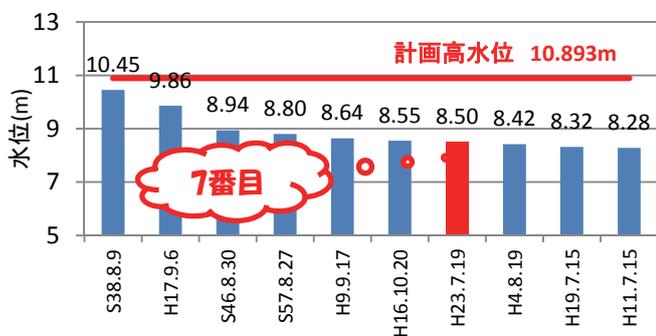
凡例

水防団待機水位	— (Blue line)
はん濫注意水位	— (Green line)
避難判断水位	— (Yellow line)
はん濫危険水位	- - - (Red dashed line)
計画高水位	— (Red solid line)

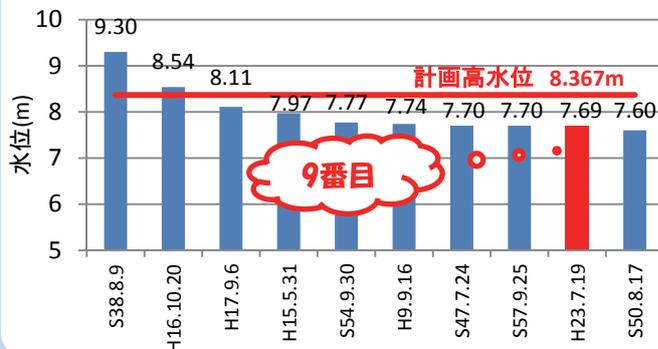
※四万十川の避難判断水位、はん濫危険水位は無堤部

今回の水位は何番目? 戦後最高水位上位10

四万十川(具同観測所)



中筋川(磯ノ川観測所)



あとがき

今回の台風6号では四万十川(佐田地区、大川筋地区)、中筋川(生ノ川地区、磯ノ川地区、有岡地区、有岡団地地区)で避難勧告が発令され、多くの住民が避難する出水となりました。今後も台風などによる出水が発生する可能性があります。気象情報、水位情報に留意してください。

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス
(0880-34-7321:4回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」
<http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」
<http://i.river.go.jp>